

平成 29 年度学部卒 榎本優斗 さん



### 『様々な授業・活動で教師のベースを形成』

Q1： 現在はどのような仕事をしていますか？

大学4年生の時、千葉県の教員採用試験に合格し、卒業後から今現在まで、千葉県で中学校理科の教員をさせていただいています。教員3年目となりました。

Q2： 在学中、印象に残っている授業や研究はありますか？

物理学科として印象に残っている授業は、卒業研究です。卒業研究では、素粒子物理学教室で研究室の先生方、研究員の方、院生の方、同級生とともに1年間研究して、とても濃い時間を過ごすことができたからです。私は、4年のときに週に1度課外活動を行っており、研究室にいた方々には、大変お世話になりました。その節は、ありがとうございました。

教職課程の授業では、人間関係論が印象に残っています。大学を飛び出して、東京大学やハンセン病記念館に行き、いろいろなことを目で見、感じて、体験する形の授業で、自分についても相手に関しても色々考えることができる授業でした。あとは、理科教育演習です。自分たちでどういう内容の実験を行うか考えて、現代産業科学館や楽しい科学の広場などで、子供たちに実験をしてもらい、教育の演習を行うというものでした。いろいろと考え、実践ができました。この授業を通じて今の自分のベースが作られたと思います。

Q3： サークル活動や課外活動などはやっていましたか。

サークル活動は「星を見る会」に入っていました。友達に誘われて入ったのですが、誘った友達は途中でやめてしまいました…ですが、サークルで同じ教職課程の友達ができただけよかったです。サークル活動以外にも、3、4年生の時に週1回千葉教職たまごプロジェクトに参加していました。大学生のうちから学校現場に入って様々な経験ができ、今の職業で活かされています。



Q4： 最後に、後輩に向けて一言

今のうちに経験できることを経験して欲しいと思います。仕事につくと、自分の時間が大学生の時ほど、取れなくなります。ということは、できることが限られてしまうということです。これからあの時やっておけば、よかったなということが出てくると思います。そうならないためにも時間がある時に、いろいろなことに挑戦してみてください。その挑戦が将来役立ってくると思います。自分で自分の道を切り開いていきましょう。